



## 自民党型政治 vs 共産党 総選挙の争点明確に

### 提案し、行動する党。日本共産党の躍進を

自民党型政治から抜け出せない「民自公」や「第二極」か、それを断ち切る本物の改革を進める日本共産党か―ここに真の対決軸があります。

「多党乱立」となる総選挙。テレビや新聞報道は、民主と自民に「第三極」を加えた「三つどもえ」とか、「民自激突、第三極力ギ」など選挙の構図を描きますが、本当の対決軸は―。「本当に第三極でしようか。みんないつていることは憲法改正、右向きです。右よりの固まりがもう一つできたというところ。ほとんど新味もない」(河野洋平前衆院議長)と言われている。



消費税増税、原発再稼働、大リストラ問題などの根本には、生活や雇用よりも優先される「アメリカいなり、大企業中心」の自

民党型政治があります。いよいよ、国会解散、総選挙になりました。日本共産党は、南関東ブロックで2議席議はじめ、議席増をめぐしてがんばりぬきます。みなさんの大きなご支援をお願いします。今の政治のままでは、景気回復も社会保障の財源も見えてきません。

「あいさつ」  
神奈川5区予定候補  
**横山 せいご**

国会解散翌日、横浜駅西口で訴える志位和夫委員長(上)、解散当日夕方、戸塚駅西口で訴える横山征吾予定候補

民党型政治があります。私は東日本大震災の被災地での約1ヶ月の救援活動で避難生活の実態にふれ、また働く青年の実態や生活保護、年金生活の状況を聞いてきました。そして首相官邸前での原発再稼働反対の抗議行動にも参加しました。そこで感じることは、国民が自分の意思で政治と向き合い、これまでの政治を「変えよう」と声を上げていく事です。歴史的にも大きな変化が起きています。

法務大臣辞任問題で民主党は辞任に際しての本人記者会見も行わず、まともに説明することもありませんでした。これで良いのでしょうか。いま、私たち神奈川5区の有権者の良識が問われています。

どんな不正も許さず、社会正義を貫いてきた党の候補者として、「国民が主人公」の政治を実現する火ぶたを切るために全力でがんばります。

◆ フリートーク広場 ◆  
総選挙の日程と重なるため  
12月は中止となります。

◆ 12月の早朝駅前宣伝 ◆  
東戸塚駅 19日  
戸塚駅東口 26日  
戸塚駅西口 毎週金曜日  
各駅とも朝7時～8時  
短時間でもぜひご協力ください。  
総選挙のため変更もあります。

比例代表は 「日本共産党」  
小選挙区は 「横山せいご」  
と、お書きください

◆無料法律相談◆ 12月19日(水) 18:30～ 「ほっと戸塚」にて 要事前予約 協力：横浜みなみ法律事務所  
◆なんでも相談◆ 常時受付けています 弁護士・税理士・社会保険労務士・看護士・建築士など専門家スタッフの協力があります。

# 岩崎ひろし議員からの報告

## 地域要求が実現しました



### 都知事選 宇都宮氏を支持

### 志位委員長が会談で表明

東京都知事選（29日告示、12月16日投票）に立候補を表明している「人にやさしい東京をつくる会」の宇都宮健児氏（前日本弁護士連合会会長）と日本共産党の志位和夫委員長が19日、党本部で会談しました。志位氏は、宇都宮氏の呼びかけに応え、日本共産党として都知事選で宇都宮氏を支持し、宇都宮氏の勝利に全力を挙げると表明しました。

### 4つの基本政策

◇東京を変える4つの柱を実現します。

- 1、原発のない社会へ—東京から脱原発を進めます。
- 2、誰もが人らしく生きられるまち、東京をつくりません。
- 3、子どもたちのための教育を再建します。
- 4、憲法のいきる東京をめざします。

◇都民みんなの声に耳を傾けて、「東京の難問」の解決をはかります。

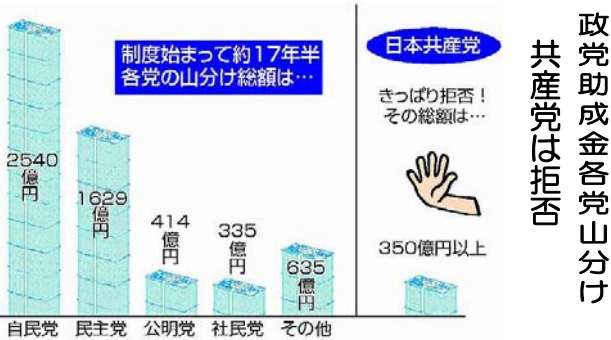


（写真上左から）南舞岡町の道路舗装 南舞岡町の樹木刈り取り 深谷町の歩道整備 上倉田町植込みの整備

## 先月とりあげた地域要求から



（写真左から）前田町 492-1 付近のカーブミラーの改善 上倉田町アピタ前の交差点の安全対策 矢部町 860 番地付近の横浜新道下の耐震性 新道大坂上付近の横断歩道の歩道表示の改修



## 「ほっと戸塚」からお知らせ

### 横浜南クレサラネット

#### 12月度の相談会

5日 12日 19日

午後6時から7時半

会場 社会福祉協議会

フレンズ戸塚

問合せは「ほっと戸塚」へ

### みんなで歌う会

#### 12月と1月は中止します。

次回は2月10日

「ほっと戸塚」

会費300円。初参加大歓迎

「なんでも相談」  
100件の月も

「ほっと戸塚」では、「なんでも相談」活動に一貫してとりこんできました。

その結果、「困った事があつたら『ほっと戸塚』に」が口伝に広がり、相談件数も増えていきます。十月度は100件を超えました。

「働き手が突然、病気で倒れ、一家が途方に暮れている」という深刻な相談も寄せられています。